

令和4度（住吉高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務員としての自覚を持ち、公務外においても県民の信頼を損なうことのないよう意識を高める。	○「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」を確認し、意識を向上させた。 ○服務規律に関する研修を実施し、意識を向上させた。 ○交通法規に関する研修を実施し、交通ルールを遵守するとともに交通事故を防止した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	働きやすい職場環境を整えて協働できる体制を築き、ハラスメント件数はゼロを目標とする。	○ハラスメントに関する研修を実施して、お互いを尊重し意見を言いやすい雰囲気づくりができた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	他者の思いに気づく人権感覚を高め、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を行っている職員はゼロを目標とする。	○生徒の小さな変化も見逃さず、情報を共有して組織的に対応する体制を整え生徒を支援した。 ○研修会や管理職による個別面談を行うことで職員の人権感覚を高めた。
体罰・不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して体罰・不適切な指導をなくし、体罰・不適切な指導はゼロを目標とする。	○生徒指導について複数の職員で行うことで生徒の人権を守り、不適切な指導を防止した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故はゼロを目標とする。	○担任と教科担当者間で情報を共有し、書類作成時等の点検を確実に行った。 ○成績処理、入学者選抜については丁寧な確認作業で事故を未然に防いだ。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	高い倫理意識を持ち、適正な業務執行を行う。	○グループ業務について、情報共有しやすいシステムを構築し、お互い協力できる体制を作った。
会計事務等の適正執行	私費会計基準の周知と適正な会計処理に努める。	○私費の取扱いに関する研修を行い、適正な会計処理を行った。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題（学校長意見）

不祥事防止について、研修等で繰り返し確認した。その結果本年度について、ヒヤリハットはあったものの、事故を未然に防ぐことができた。今後も一人ひとり、他者を尊重し、公務員としての自覚をもち、業務にあたるよう指導していく。